



2024年

1月9日 (火)

13:30-16:30

オンライン

参加費無料

事前申込



<https://forms.gle/Bn7jyhdLefZN1C4e9>

都市計画
CPD

農を介する つながる場

「農福連携」の可能性と課題

「農」の営みは幅広い活動要素を含み、障がいを含む個人の特性に合わせて取り組むことができる。また、「農」の営みからは、収穫物や加工品、さらには芸術も生み出されることから、それらを通じて地域とのつながりも生まれる。

本公開研究会では、こうした「農」の営みの持つ特徴を活かしながら、障がいを持つ方を含む、さまざまな特性を持った人がともに地域で暮らせることを目指した団体にご登壇いただく。そして、どのようなアプローチでどのような地域との「つながり」を生もうとしているのか、その過程において、どのような空間をどのように活用しているのかを共有し、将来の「農」を介するつながる場のあり方を考える。 ※日本都市計画学会都市計画CPDプログラム(3単位)・受講証明書発行

プログラム

13:30 開会あいさつ 藤井さやか (筑波大学)
13:35~15:35 事例紹介 司会：新保奈穂美 (兵庫県立大学)

事例紹介①	柏市「花工房カモミール」	猿橋 泉 (NPO法人カモミール)
事例紹介②	西東京市「みんなの畑」	若尾健太郎 (ノウマチ)
事例紹介③	つくば市「ごきげんファーム」	伊藤文弥 (NPO法人ユアフィールドつくば)
事例紹介④	つくば市「自然生クラブ」	柳瀬 敬 (NPO法人自然生クラブ)

15:35~15:45 休憩
15:45~16:25 ディスカッション コーディネーター：新保奈穂美
16:25~16:30 閉会あいさつ 雨宮 護 (筑波大学)